

2003
W Frontline

Sp

interview

日本のベストセラーを アメリカの読者に

出版社ヴァーティカル酒井弘樹社長
イオアニス・メンザス編集長に聞く

今

春、4人の日本人作家が
全米デビューした。カオ
リ・エクーニ『Twinkler』

短く、スピード感のある
日本の小説

『Ashes』、カオル・クリモト

『The Guin Saga』、メグミ

『Ring』、仕掛け

たのは、ニューヨークの新鋭出
版社ヴァーティカル。日本の現
代小説をアメリカで出版しよう
と、酒井弘樹氏が立ち上げた。

ヴァーティカルが出版対象とし
て選ぶ小説は、純粋にエンターテ
イメントとして完成度が高く、面
白いもの、と両氏は言う。日本の
社会・文化が強調された作品は避
け、むしろ、主人公の名前を英語
名に変えても機能するくらいの小
説、つまり日本を知らない読者で
も楽しめる作品だ。

「ハードボイルドでも、警察の捜
査術とか、日本の法律の抜け穴な
どを緻密に描いた作品は、アメリ
カ人は読みたいとは思わないでし
よう」とメンザス氏。「むしろ、個
人の生きざまが前面に押し出され
たものですね。ちょうど、北方氏
の作品のようにね」

さらにメンザス氏は「アメリカ

のエンターテインメント小説は、キ
ャラクターが紋切型になってきて
いる」と続ける。「それに、描写が
だらだら続いたり、スピード感が
ない。本自体も分厚い。アメリカ
の読者はそういう作品に飽きてき
ていると思いますね」

キャラクターが新鮮で、物語全
体が短くスピーディに展開する日
本の小説は、アメリカの読者が今
求めているものだ」と両氏は考
え、実際に読者からは「一気に読み終
えた」という声が多いという。

来年春発行予定の新刊の中には、
灰谷健次郎の『兎の眼』がある。
教育現場を描いた小説としては、
代表的な作品だ。「アメリカの教育
現場で起こっている問題も、日本
と変わらない」と、両氏は『兎の
眼』がアメリカの読者にも訴えか
ける力があると確信している。

ブックデザイン界の第一人者で
あるチップ・キッド氏によるカラ
フルで斬新な装丁の4冊は、書店
でもひととき目を引く。さてその
中身は、アメリカの読者にどこま
で受け入れられるだろうか。ヴァ
ーティカル社長の酒井氏と、メン
ザス編集長に聞いた。

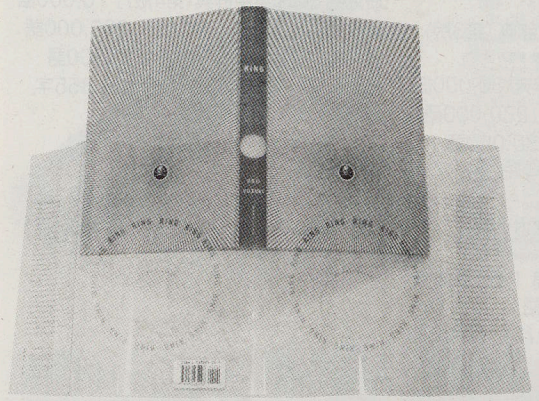
さらにメンザス氏は「アメリカ

のエンターテインメント小説は、キ
ャラクターが紋切型になってきて
いる」と続ける。「それに、描写が
だらだら続いたり、スピード感が
ない。本自体も分厚い。アメリカ
の読者はそういう作品に飽きてき
ていると思いますね」

紙ナプキンににじんだ文
字、喫煙に欠かせないマッ
チ箱、その奥にはブルーに
染まった主人公の顔……
と、三重構造になっている
Kenzo Kitakata『Ashes』
の装丁。物語をご存じの読
者は、このデザインに納得
だろう



Koji Suzuki『Ring』の
装丁は、カバーを透明
にするとチップ・イ
キッド氏が生きている。中く
心はどくろをとりまき
放射線は「旭日旗」から
よくじつき」から着
想を得ているという



作品はそろそろつくる 後は「仕組み」さえあれば

「日本の現代小説がほとんどアメリカで紹介されないのは、よい作品がないからではなく、仕組みがないからだと気づいたんです」と、酒井氏は出版社設立のきっかけを語る。

よしもとばななや村上春樹など、アメリカでも認知されている作家はいる。しかしそれは、作家自身や編集者など、個人レベルの活動で実現したものだ。作品を大量に紹介できる「仕組み」があれば、海外で紹介できるはず……。日本でビジネス書の出版に関わっていたころからそう考えていた酒井氏は、5年前仕事を辞めてニューヨークに移った。

「仕組み」の模索には3年費やした。メンサス氏と知り合ったことで出版社という形が決まったという。ヴァーティカル設立後は、前出のチップ・キッド氏をアートデ

イレクターに起用し、全米第2位の独立系書籍配給会社ナショナル・ブック・ネットワークと提携。作品のいくつかについては、映画化に向けてハリウッドと交渉を始め、辣腕ぶりを発揮している。しかし本人は「作品に力があるから、できることです」と、淡々と語っている。

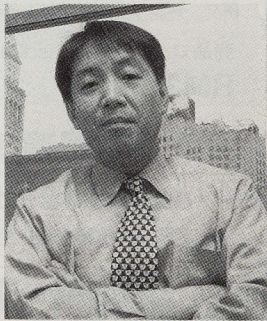
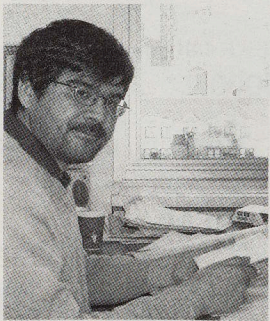
ヒロイック・ファンタジーの『グイン・サーガ』、ハードボイルドの『棒の哀しみ』（英題『Ashes』）など、欧米が独断場と思いついたジャンルにおいて、まったく引けを取らない作品を「日本で生まれ、日本で育った作家が、日本語で書いたのだとアメリカ人が知ったら、日本に対する見方が根っここのころで変わるかも知れない」と酒井氏は言う。

今の日本を見つめる作家が生まれ出し、多くの日本人が深く共感する小説を、アメリカの読者はどう読むのか。ヴァーティカルが今後送り出していくラインナップと、

その行方が楽しみだ。(取材・文：遠山清香)

日本の小説をアメリカで出版するという長年の夢を叶えた酒井弘樹氏。「成功の法則は“成功するまで止めないこと”」と話す

ギリシャ人と日本人のハーフであるイオアニス・メンサス氏。プリンストン大学首席卒業の経歴を持つが、膨大な出版候補から1冊を選ぶのは「カンです」と言って笑う



The Ultimate in A/V Personalization

Alpine puts the "me" in multimedia. Because with Alpine's customizable Mobile Multimedia system, you build your own rolling entertainment empire with only the components you want. From wide-screen monitors to satellite-linked navigation to, yes our new 6-disc DVD changer. All with Alpine's legendary audio quality. Or you could just get an off-the-rack system like everyone else. Yeah, right.

ALPINE

www.alpine-usa.com

©2002 Alpine Electronics of America, Inc